

あこ

瀬戸内市文化協会 平成30年2月20日発行 第14号

地域伝統文化の紹介

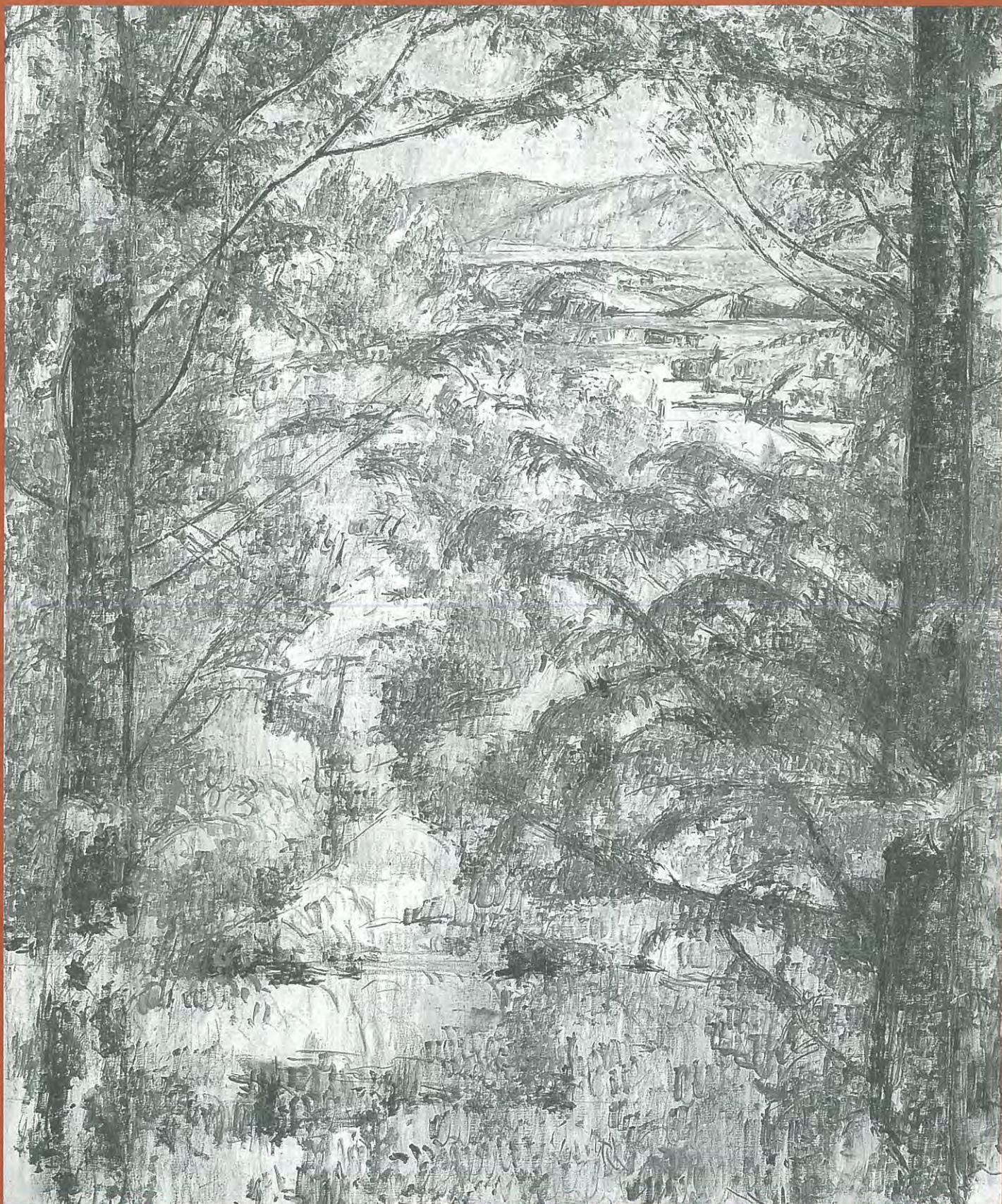
備前福岡だんじり(山車) 巡行



長船町福岡地区では、秋祭りで伝統行事のだんじり祭り(瀬戸内市指定文化財)の巡行を行っています。だんじり巡行の起源は不明ですが(江戸時代からと書物にある)現在のだんじり(山車)は1821年(文政4年)京都で製作した1台です。本年度は宝くじ還元資金を頂き、だんじり

本体の改修を行っています。大型山車(長さ4.2m、巾2.0m、高さ3.6m、重さ約4000kg)に福岡地区の子供たちがお囃子衆、その他大勢の引き手衆に分かれ福岡地区の七小路通りを巡行し豊作を祝っています。山車の屋根を覆う大小1500本の飾りは地元住民の全て手作り、桜花(半紙を切り食紅で染める)を竹籤(たけしん)に巻き付けて作ります。地域の大切な伝統文化として、福岡だんじりを継承していきたいと思っています。

福岡だんじり保存会
会長(平原 順二)



表紙 佐竹 徳

明治30年(1897)大阪生まれ。鹿子木孟郎、藤島武二に師事。文展、帝展、新文展、日展で活躍。日本芸術院会員。「溪流の画家」として知られたが、昭和34年(1959)に牛窓を訪れて以後、制作の拠点を牛窓オリーブ園のアトリエ「赤屋根」に移して作品を発表する。

会員の受賞・入選

おめでとございます
第68回県展
「山陽新聞社大賞」
奥田 雄山 (書道)
改組新第4回日展「入選」
奥田 利勝 (洋画)
「白無垢2」 (洋画)
奥田 雄山 (書)
「馬鬣」 (書)
「特別賞」
三木 裕紀

会員募集

「瀬戸内市文化協会」の会員を募集しています。みんなで瀬戸内市の文化を育てていきましょう。

◎お問い合わせ・お申し込みは

- ◆教育委員会社会教育課(34-5604)
- ◆中央公民館(22-3761)へご連絡下さい。

平成29年度 瀬戸内市文化協会役員

- 顧問 森 陶岳 岡村三平
- 参与 奥田桂峰 西浦千方太
- 会長 黒井千左 岡崎吉二郎
- 副会長 清水 徹
- 事務局長 小林直明 三上澄明
- 監事 松川広己
- 常任理事 森崎昭生 奥田悦代
- (清水 徹) 立岡隆子 上野洋子
- 妹尾 薫(三上澄明) 藤間善清
- 梶谷 栄 大倉順恵 山下皓与
- 神戸淑子 奥田利勝 坂手得二
- (小林直明) 岡本恭子 稲荷 作
- (松川広己) 上森豊玉 小林翠玉
- 島 隆諦 刘屋長子 四十塚正子
- 小林節子 池畑富美子 横山好美
- 下山公子 松尾俊介 野崎 泉
- 馬場初根 三谷敏夫
- 理事 96名

編集 後記

本号では、日本の産地である、備前長船の刀剣について特集しました。本年度は文化協会の事業として、鳥取市の「砂の美術館」等の研修視察を実施したところ、26名の参加がありました。

編集委員

- 小林直明 赤木輝美子 野崎 泉
- 下山 公子 妹尾 薫

備前長船と日本刀聖地

備前長船といえば、日本刀の聖地の一つとして有名です。これは、日本有数の日本刀の産地であったためです。日本刀の主な産地としては、備前・山城・大和・美濃・相模の5つの国が有名で、この5つの産地を総称して五ヶ伝と呼ばれました。また、備前地域で作られる日本刀を備前刀とよばれたりします。備前刀は質が良く、姿も美しいことから国宝に認定されているものも多く、国宝に指定されている111口の内の47口が備前刀です。

歴史

備前刀は、この五ヶ伝の中でも古い歴史があり、一〇〇〇年程前の平安時代末期には、すでに古備前派と呼ばれる集団が備前地域で作刀を始めたこと伝えられています。特に平安時代から室町時代にかけては、備前における日本刀生産の最盛期となり、我が国の刀匠の1/4が長船周辺に住み、生産量は半数以上を誇る一大生産地として栄えました。一大生産地として成立した理由としてあげられるのが、材料や流通販路が整っていたことです。生産地であった福岡地域や長船地域は、近くに物流の大動脈であった山陽道が通り、山陽道と直行する形で、吉井川などに代表される河川交通に恵まれていたため、交通や流通が備前随一の要衝でありました。

山地从ら運ばれてくる良質な砂鉄や、燃料の赤松などの材料が集まり、それに鉄を冷やすための吉井川の豊富な水があるなど日本刀を作る上で条件がそろっていました。日本刀が作られると、商業地であった福岡の市で販売が行われ、山陽道や吉井川を通り日本各地の消費地に運ばれていきました。このような背景のため、長船地域は圧倒的な生産量を誇っていましたが、備前刀がシェアの半数を誇っていた理由は、単に材料や流通経路が整っていたことだけではありません。

現在

現在も多くの人を魅了し続けている備前刀ですが古くから一貫して生産が安定していたわけではありませんでした。特に、江戸から明治への転換期に行

われた廃刀令など日本刀にとって冬の時代を迎えると、日本刀の生産が著しく衰退していきました。しかし、地域の人々などの努力により、長船地域を中心として日本刀を作る職人が、日々日本刀制作にいそしむとともに、先人たちが後世に作刀技術を伝えようとした精神を受け継ぎ、備前長船が刀の生産地であるということを今に伝えていきます。

備前長船刀剣博物館

学芸員 (杉原賢治)



古式鍛錬 (撮影者「タケミ写真工房 西岳海」)



刀 忠光



刀 家助



刀 祐包



脇指 清光・勝光



短刀 義隆



(もんぺを染めて)

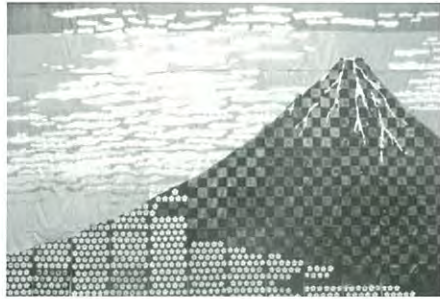
講座は月2回集まって楽しく染め物をしています。10時から午後3時まで活動していますが、お昼はみんなで弁当を食べます。旅行に行った人のお土産を頂いたり、手作りのお菓子やパンや総菜を持って来て下さる方があるので、レシピを聞きながら、ワイワイ楽しく会食しています。

新しい仲間をお待ちしています。是非参加して下さい。

ナチュラル染色「ある」の会
(松本 道子)

長船町公民館で講座が始まったのが30年前です。展示会を開催して30周年になります。展示会は年3回行っています。同じ作品ですが、春に天神山文化プラザ、夏に金川酒蔵、秋に文化祭に参加しています。

展示会が終わると反省し、次の展示会のテーマに従って何を染めるかみんなで考えるのに数ヶ月かかります。この作業が一番大変ですが、また楽しみでもあります。決まれば染めるのですが、展示の方法も考えます。



(50cm角のハンカチ 96枚使用)

◎染色に魅せられて

各部の活動紹介

◎箏曲三上社明寿会演奏会

— 箏曲を市民のもとへ — を終えて

11月12日に、瀬戸内市中央公民館大ホールにおいて無事に演奏会を開催することができました。お忙しい中ご来場くださいました皆様方、有難うございました。

今回「箏曲を市民のもとへ」というテーマのもと設置していた『体験コーナー』では、初めてのお箏に目をキラキラ輝かせている子ども達、「昔お稽古をしていたのよ」と懐かしそうに箏をさわっている方、たくさんの方々に触れて頂き箏を身近に感じて頂くことができました。

終曲では、大勢が文字通り『息をあわせる』ことができ、メンバーが心一つにして気持ちよく演奏を終えることができました。

演奏会終了後、皆様から胸に響く演奏だったと温かいお言葉を頂きました。これまで頑張ってきた練習の成果が発揮できたことを、会員一同喜んでおります。

2年後に予定している、開軒50周年記念演奏会に向け、これからも一心を一つにして歩んでいきたいと思っております。

箏曲三上社明寿会

(二上 澄明)



人を文化をつなぐ

つなぐ会は、「人と人、文化と文化、来場者と共に楽しみ、つなぐ」を基本に平成24年に発足しました。毎年一回、瀬戸内市立美術館ギャラリーSで異分野交流展『つなぐ：展』を開催しています。

創作・技能のインスピレーションは、日常の他者との交流にもあり他の分野からの刺激にもあるのではないかと思ったのが、この会の始まりです。枠にとられず意識を自由に広げることが、より佳きものを生み出す力になるのではないかと思えます。

『つなぐ：展』の参加者は、同じ場所と時間を共有し、意見交換しながら一つの空間を作り上げていきます。その過程において、自らの作品(ライブを含む)を第三者の視線で見ることにより新しい気づきがあり、また他分野の独自の表現に刺激を受けています。来場者は、第一線で活動・活躍している参加者の作品を同時に鑑賞でき、また異分野の作品が共鳴し合う世界を体験することが出来ます。



この会のあるべき姿を記した「つなぐ：展」の挨拶詩文の一部を紹介しておきます。

(つなぐ会 森崎昭生)



(昨年の会場の様子)

ひとりひとりの誰もが創造びと
それぞれの暮らしの中で
内なるものを見つめ耕しつづける
暮らしの中から生まれ
暮らしの中で育まれ
暮らしを彩る文化
CULTは耕す
UREは場所
カルチャーは耕された場所を意味する
ひとは精神の大地に小さな種を播く
やがて
その種は芽吹き葉を茂らせ花を咲かせ
実を結ぶ
そのよるこびを分かち合おう
過去と未来のはざまのこの時間に
たとえ
その実が鮮やかではなくとも

第5回つなぐ：展 テーマ「のどか」
平成30年3月7日(水)～3月11日(日) 10時～17時 最終日は16時まで
会場：瀬戸内市立美術館3階ギャラリーS 入場無料
内容：展示とライブ
ハライブスケジュールV
3月11日(日) 茶席(茶道)、食文化、こども合唱、フルート演奏

瀬戸内市の文化祭風景

長船会場

11月11日(土)～12日(日)

今年で31年を迎えた菊花展は、市内外から大勢のお客様をお迎えし、年々盛大に行われていました。菊の一番美しいころ行われる文化祭では、いろいろな見事な創作の作品が会場に並び、また、ステージ発表もあり、どの部も1年間の学びを展示に、発表にと、その成果を発揮していました。

今年も中学生ボランティアの有志が2日間働いてくれたコーヒーショップでは、お互いの親睦を深めながらの穏やかなおしゃべりが有ったり、台所では、おうどん、お弁当作りに皆さん大活躍ステージ発表では市長にはお忙しい中にもかかわらず歌って頂くなど、みんなで楽しく充実した2日間が過ぎました。



牛窓会場

10月28日(土)～29日(日)

牛窓町公民館で公民館グループを中心に10分野の作品を展示しました。29日のステージ発表は14団体が日頃の練習の成果を存分に発揮され、観客の皆さんを魅了していました。

なお、関連行事として、28日には「囲碁大会」・「健康チェック」・「スポーツ吹矢体験会」、29日には「前結び着付け体験会」が開催され、また、午前10時から大講座室において、牛窓いきいき学級で子ども合唱団「ティンカーベル」・牛窓中学校「吹奏楽部」・オカリナとハンドベル演奏「野の花F」の演奏会が実施されるなど、充実した2日間の日程を終了しました。



邑久会場

10月21日(土)～22日(日)

邑久会場では「歌はあなたのAnother History」で開幕しました。美しい歌声と演奏が響いた中央公民館ホールでは引き続き市民ステージ発表があり、各グループが日頃の練習成果を熱演されました。力作が並んだ市民創作展は、どの作品もすばらしく見応えがありました。

2日目は、台風接近のため11時に文化祭中止が決定し、この日のために準備されていた方々にはお気の毒でした。次回を楽しみにしております。



◎「夢ニフォークダンスサークル」 創立20周年記念大会開催

10月8日に瀬戸内市牛窓体育館において、夢ニフォークダンスサークル創立20周年記念大会が大勢の方々の参加を頂き盛大に開催することが出来ました。今回のメインは何と言っても生伴奏で踊れることです。早くなったり、遅くなったりと生演奏でしか経験出来ないリズムにとまどいながらも笑顔で踊る姿が印象的でした。

ほとんどの方々が生演奏での踊りは初体験のようでした。「フォークダンスは、みんなが楽しむもの」170名全員が楽しく笑いの絶えない思い出に残る一日でした。

夢ニフォークダンスサークル

(片山 和子)



ニフォークダンスサークル創立20周年記念大会 第31回山陽ラテンチャリティーコンサート



◎「つきみ草」 20周年記念公演開催

邑久出身の、世界的人形師「竹田喜之助」さんに惹かれて始めた糸あやつり人形劇団は、20周年を迎えました。去る12月10日(日)の午前と午後の2回、今まで支えてくださった方々に感謝して、市民図書館の喜之助シアターで記念公演を行いました。

今回初披露となる「三番叟」をはじめ、「お花しご」など6演目の上演と、そして新たに制作した「たろ坊はじめのおつかい」を絵本にして発表しました。公演終了後、絵本の抽選会を行い、10名の方にプレゼント。会は最高潮に達しました。会場は一足早いクリスマス気分でした。

この絵本はごとも向けです。各図書館(3館)に寄贈しておりますのでご覧下さい。

糸あやつり人形劇団「つきみ草」

(城山 雅恵)

